

昔むかし、かめとハゲタカが、天のおまつりに行くことになりました。かめがハゲタカに、

「どちらが先に天に着くか競争しよう」といいました。ハゲタカは承知して、さっそくおべんとうを作って、かごの中に入れました。

ふたりは、明日の朝早く出発することにして、寝床ねどこに入りました。

真夜中、かめは、ハゲタカのかごの中にもぐりこんで、おべんとうの下にかくれました。

朝になると、ハゲタカは飛び立って、天に着きました。そして、

（どうせかめくんはまだ来ないだろう）と思って、あたりの様子を見に行きました。そのあいだに、かめは、かごからはい出して、ぶらぶら散歩に行きました。

ハゲタカとかめは、天の道でひょっこり出会いました。ハゲタカが、

「おや、きみは、いまごろ来たのか」というと、かめは、

「ぼくはとつくの昔に来ていたよ」と答えました。

やがておまつりが終わると、ハゲタカが、

「どちらが先に地面に着くか競争しよう」といいました。

「いいとも」と、かめは答えました。

ふたりは出発しました。

ハゲタカは、地面をめがけて舞い下りて行きました。

かめは、まっしぐらに天から落ちて行きました。

かめが、地面の近くまで来てふと下を見ると、自分の真下ましたに大きな岩があるではありませんか。かめは、大きな声でどなりました。

「岩よ、どけ！どかないと、たたきつぶしてやるぞ」

岩はあわててどきました。かめは、どすんと地面に落ちました。おかげで、今でも、かめのむねはぺしゅんこで、背中のはらには、ひびが入っているのだそうです。

おしまい。